第６期音威子府村総合計画

ダイジェスト版

発行　音威子府村
〒098-2501
北海道中川郡音威子府村字音威子府 444- 1
TEL （01656）5-3311
FAX （01656）5-3837
URL　http://www.vill.otoineppu.hokkaido.jp

発行日　令和５年３月



おといねっぷ物語
2032年

令和14（2032）年の音威子府村には、こんな人たちが暮らしています。

Aさん 28歳 アウトドアの匠

関連する基本目標 ❶❷❸



私はアウトドアが好きで、仕事とは別に趣味を活かし、夏は森林ガイド、冬はウィンタースポーツを教えています。

村の宝である天塩川や森林資源は昔から変わらず、豊かな自然が保たれているのも魅力です。環境に対するさまざま取り組みもあり、ごみのことやエネルギーに関する考えも変わりました。

私が携わる自然体験などを通じて、子どもたちが村のことをもっと好きになってもらえれば嬉しいなと思っています。

Bさん 37歳 魅力発信の匠

関連する基本目標 ❷❸



村に暮らす皆さんとの交流から村のことが好きになり、数年前に移住して小さなカフェを開いています。村の方に教えてもらったパン作りがきっかけで、いまでは作ったものをインターネットで販売しながら、大好きな村の風景や出来事もSNSで発信しています。

この間は、私のSNSを見て来てくれたお客さんがいて、村の方と一緒に楽しくお話ししました。村のファンが少しでも増えてくれたらな、と思います。

Cさん 45歳 地域コミュニティの匠

関連する基本目標 ❷❸



自宅でDIYをするのが昔からの趣味で、たまたま仲間に誘われたことがきっかけで、村の空きスペースをDIYして集いの場を作りました。

休みの日にはそこでのんびり過ごすのが好きなのですが、子どもたちや村の方々も遊びに来てくれて、普段話す機会のない方とおしゃべりするのも楽しいなと感じています。



Dさん 27歳 二地域居住の匠

関連する基本目標 ❶❷❸



子どもの頃からの夢をかなえるために北海道外で就職しましたが、いまは音威子府と行き来しながら仕事をしています。仕事や居住環境も不便はなく、困ったことがあれば近所の方が助けてくれるのも、小さな村ならではです。

村には隠れた魅力や素敵な人がたくさんで、日々刺激をもらっています。村立高校を卒業したアーティストが村内外に居るのも魅力的で、いまは仕事のノウハウを活かして、創作活動や創作拠点の支援をしています。



一人が何役かを担う村づくり

村外に出ても戻ってきたいと思える村づくり

村民同士の交流の場が増える



未来の音威子府村をみんなで考えました



小学生や中学生をはじめ、村民みんなでわくわくする未来について考え、
たくさんのアイディアが出されました



安心して活き活きと過ごせる村





多様な働き方や暮らし方を実現できる環境づくり

みんなの力をあわせてやってみよう！

アイディア idea

ワークショップで「10年後の理想の姿を叶えるために必要なこと」や「自分たちができること」をテーマにアイディアを出し合い、自分たちでもチャレンジできる企画やアイディアについて話し合ってみました。

1 みんなが集まる機会、空間づくり

村内の空き家や公共施設の空き空間など資源を活用して、誰でも集いやすい機会・場を作ったり、村民一人ひとりの得意なことを持ち寄って、新しい交流が生まれたらいいよね！

2 気軽に一人二役で活躍できる仕組み

一人ひとりが「自分の好きなこと」「得意なこと」を活かして、無理なく気軽に一人二役で活躍できる機会や仕組みがあるといいね！

3 地域の良さを活かした村自慢の一品づくり

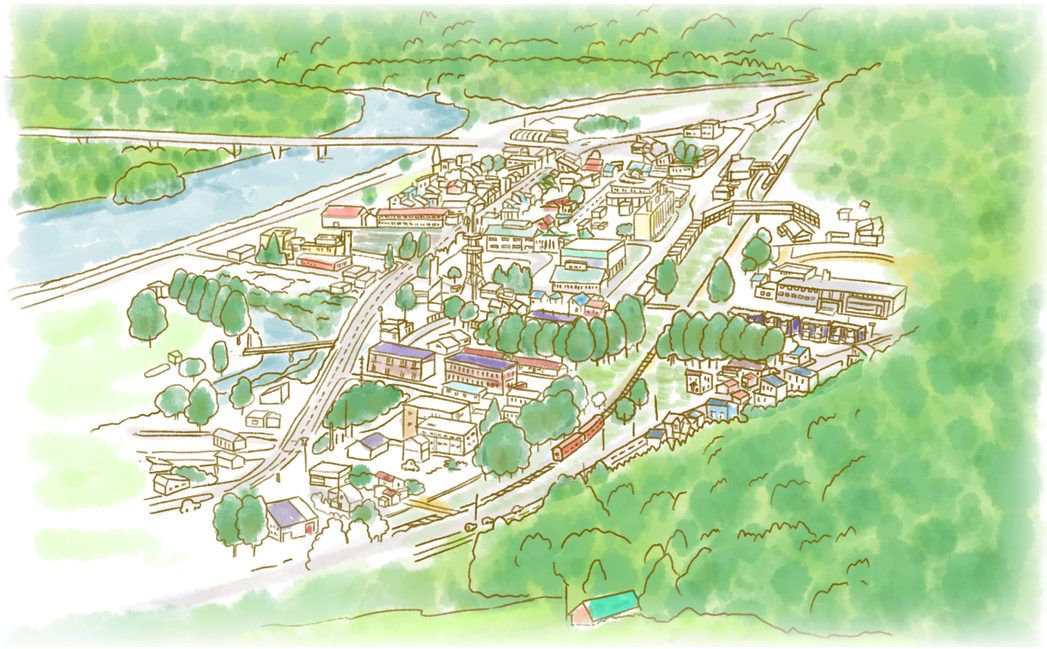
自然環境や産業を活かしながら、いろんな人に紹介したくなる「音威子府ブランド」を生み出して、観光施設での販売だけではなく、地域外での対面販売やネット販売もいいね！

4 村を盛り上げる地域外のファンづくり

村に住んでいなくても、村に住んでいたことがある人、村を知ってくれている人、村のことが好きな人が、村の魅力や楽しさを共有できる場があれば、より応援してくれる人も増えるよね！

5 村民一人ひとりが村のPR大使になろう

村の広報紙やウェブサイトはもちろん、村民一人ひとりが、まずは出来る形で村の良さや魅力を誰かに伝えていけば、それだけでもPRになりそうだね！



村の将来像

森とともに
一人ひとりの匠が活躍する村

この将来像は、先人から受け継がれてきた想いである
「森」とともに歩み続ける村づくりから描きました。

小さな村に暮らす一人ひとりが一人二役で活躍し、
互いに支えあうことにより、より一層かけがえのない村になります。

1．総合計画策定の趣旨

音威子府村では、平成25（2013）年度に「第５期音威子府村総合計画」（計画期間：平成25（2013）～令和4（2022）年度）を策定し、村づくりの実践目標を「森と水と人が織りなす匠の里・おといねっぷ」と定め、村民と行政が連携して取り組みを進めてきました。

また、令和２（2020）年度には、「第２期音威子府村まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：令和２（2020）～令和6（2024）年度）を策定し、人口減少に伴う地域課題に対応する、より具体的な取り組みを進めてきました。

この間、本村においては、人口減少と少子高齢化が依然として進行しており、さらには全国各地における大規模な自然災害の発生、世界的な感染症の大流行など、想定しきれない危機、社会・経済情勢の大きな変化がありました。

今後、さまざまな変化や危機に対応しながら、将来にわたって持続可能な自立した音威子府村をつくっていくために、令和５（2023）年度から令和14（2032）年度までの10年間を計画期間とする「第６期音威子府村総合計画」を策定します。

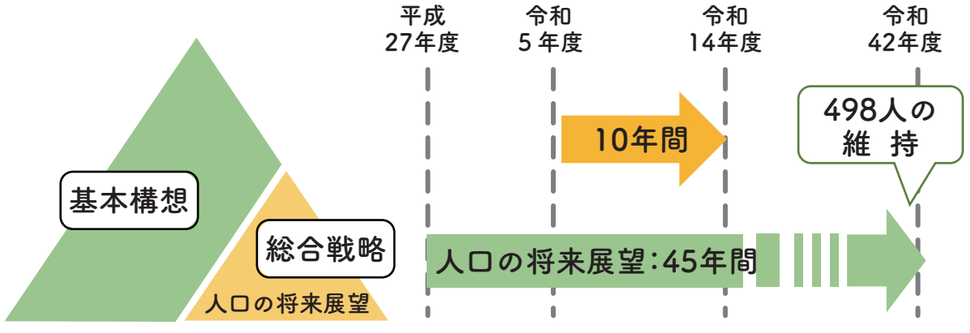
2．計画の位置付け

本計画は、本村政における最上位計画として位置付けるものです。
本計画との整合性を図りながら、分野別の基本計画を策定・改定します。

●将来人口

全国的に少子高齢化や人口減少が急速に進む中、小さくても魅力ある村として在り続けるためには人口の維持が必要です。

2032年に人口685人を目指す

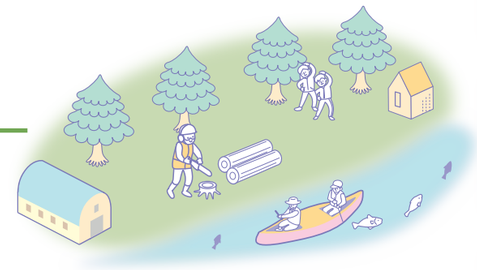


将来像
future

森とともに一人ひとりの匠が活躍する村

基本目標

森とひとが共生する



基本分野：環境・防災

自然環境、再生可能エネルギー、
防災・防犯、社会インフラ

森に学びひとが未来を創る



基本分野：経済

産業振興、雇用環境

森の大切さを知るひとが育つ



基本分野：人・暮らし

教育・人材育成、文化振興、
交流、子育て、
福祉・医療、協働、行財政

施策の柱

森に囲まれた環境にやさしい村
1）自然環境の維持・推進
2）循環型社会の形成

自然と調和した住み良い村
1）自然と調和した村づくり
2）暮らしを支える生活基盤の整備

村民の命と財産を守る安全な村
1）地域安全の確保

村民の活力があふれる村
1）農林業・商工業の振興
2）地場産品の振興
3）観光レクリエーションの振興

自分らしい働き方と生き方を送れる村
1）時代に合わせたライフスタイルの実現
2）雇用機会の充実
3）移住・定住の促進

村への愛着と生きる力を育む村
1）教育の充実
2）おと高を通じた地域振興
3）交流活動の促進
4）スポーツ・芸術文化振興

互いに思いやり安心で活き活きと暮らせる村
1）保健・医療サービスの整備
2）子育て環境の充実
3）福祉の推進
4）地域福祉の推進

ともに支え合い関わり合う村
1）村民協働の仕組みづくり
2）効率的な行政運営
3）行政サービスの充実
4）健全な財政運営
5）公共施設等の総合管理
6）男女共同参画社会の推進

基本目標１　森とひとが共生する

（１）森に囲まれた環境にやさしい村

１）自然環境の維持・推進

- 森林や河川などの自然環境の維持・整備などによる保全を図ります。
- 自然環境との共生を目指すために再生可能エネルギーや省エネルギーの取り組みを推進し、環境にやさしい暮らしや事業活動の促進を支援します。
- 村民･事業者･行政が連携し、再生可能エネルギーへの転換や省エネルギーの取り組みを進めていきます。

＜主な施策＞
- ●森林や河川の維持・整備
- ●再生可能エネルギー導入や省エネルギーの推進
- ●ゼロカーボン政策の推進

２）循環型社会の形成

- できるだけごみを出さないようにし、自分で出したごみに責任を持つよう村民の意識醸成を図ります。家庭や事業者から出されるごみを減らすため、村内で再利用できる取り組みを進めます。
- 4Rの促進や再生可能資源の活用促進、廃棄物の適正処理を推進し、循環型社会の形成を支援します。

＜主な施策＞
- ●4R（ごみの発生回避・減量化・再利用・再生利用）の促進
- ●廃棄物の適正処理の推進
- ●再生可能資源の活用促進

施策の柱に関連する SDGs のゴール



（２）自然と調和した住み良い村

１）自然と調和した村づくり

- 先人から受け継がれ、維持管理されてきた森林や河川、道路、豊かな景観を後世に残していくための取り組みを進めます。

＜主な施策＞
- ●道路や河川の維持管理、安全確保
- ●山林保全による景観形成
- ●廃屋撤去等による環境美化の推進

２）暮らしを支える生活基盤の整備

- 道路、上下水道、除排雪対策など、日々の暮らしに必要な生活基盤を整備し、暮らしの快適性を実現してきました。今後も村民が安心して住み続けられるよう、社会資本の適切な維持・管理と整備に努めます。
- 交通インフラを維持・管理しながら、生活の安全性や利便性を高めていきます。

＜主な施策＞
- ●水道水の安定供給、下水処理、施設維持
- ●住宅改修・持家住宅奨励制度の利用促進
- ●公営住宅の適正な修繕
- ●環境に配慮した、快適な住環境の整備
- ●除排雪対策の整備、強化
- ●宗谷本線の活性化、拠点駅としての機能充実
- ●音威子府バイパス開通に伴う関連施策の推進
- ●広域交通（鉄道・道路）ネットワークの確立

施策の柱に関連する SDGs のゴール



（３）村民の命と財産を守る安全な村

１）地域安全の確保

- 地域における防災に対する意識の向上と防災及び救急体制の充実を図ります。
- 地域の安心・安全に関わる情報発信の基盤を充実し、環境の改善や防犯意識の醸成につなげます。
- 安心・安全な村づくりを進めるために、防犯意識の高い地域づくりを目指し、地域に根ざした防犯活動を推進します。

＜主な施策＞
- ●洪水・地震・豪雪・山地災害等に備えた防災体制の整備及び防災意識の普及啓発
- ●交通安全意識の普及啓発、関係機関と連携した安全確保の推進
- ●消防団員の定数確保、消防車両の更新
- ●住環境を損なう障害物等の撤去促進
- ●救急体制の充実
- ●防犯活動の推進

施策の柱に関連する SDGs のゴール



基本目標２　森に学びひとが未来を創る

（１）村民の活力があふれる村

１）農林業・商工業の振興

- 農林業など第一次産業の振興のために、基盤整備に加え、新しい担い手の確保及び農畜産物などの活用促進を図ります。
- 商工業の活性化に向けて、後継者の確保や創業支援などの充実を図ります。

＜主な施策＞
- ●森林資源・天然林等の多面的活用
- ●新規作物導入の促進
- ●土づくり及び土地基盤整備の推進
- ●有害鳥獣対策の強化推進
- ●農林業・商工業の後継者確保・育成、起業・継承・創業支援・新規就労受け入れ態勢の整備と推進

２）地場産品の振興

- 村内の農畜産物を村内外で広く親しんでもらえるように、特産品開発支援などブランド化の推進に努めます。
- また、木工品など商品のマーケティング戦略を進め、多くの人に商品の価値を訴求するための PR、流通、販売の仕組みの充実を図ります。

＜主な施策＞
- ●第一次産業のブランド化、６次産業化支援
- ●工芸品や農産品の商品化・販売促進
- ●農商工連携による雇用の場創出

3）観光レクリエーションの振興

- 本村が誇る歴史的資源や文化資源など、あらゆる地域資源を活用して、着地型体験観光の展開を図ります。
- 観光振興に関わる人材の育成や環境づくりを進めます。

＜主な施策＞
- ●既存の観光施設の充実・整備等
- ●着地型体験観光の造成
- ●観光における住民活躍の場の創出
- ●村及び観光スポット等のPR
- ●音威子府バイパスの開通に関連する地域振興の推進

施策の柱に関連する SDGs のゴール



（2）自分らしい働き方と生き方を送れる村

1）時代にあわせたライフスタイルの実現

- リモートワークやワーケーションなど、時代にあわせた新しいライフスタイルの実現に向けて、環境整備や支援体制の充実を図ります。

＜主な施策＞
- ●新たな働き方の導入支援および環境整備
- ●産学官金の連携により副業・兼業等人材活用できる体制づくり
- ●ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくり推進

2）雇用機会の充実

- 本村の産業振興を支えるため、地元企業等への雇用促進を図ります。また、北海道おといねっぷ美術工芸高等学校（通称：おと高）卒業生や若い世代の雇用の場の創出など、雇用環境の充実を図ります。
- 本村の地域資源や自然環境などを活かして、企業誘致に努めます。

＜主な施策＞
- ●地元企業等への就業者雇用の促進
- ●おと高卒業生や若者の雇用の場の創出
- ●企業誘致の推進

3）移住・定住の促進

- 村民一人ひとりが自分らしいライフスタイルを送ることができるよう環境を整備するとともに、村外からの移住・定住を促進するため、相談窓口の充実を図ります。
- 移住・定住者を受け入れることができるよう、体験移住の促進や住居の確保に努めます。

＜主な施策＞
- ●移住相談窓口の充実
- ●移住・定住に向けた住居の確保
- ●空き家や体験住宅等を活用した移住の促進
- ●移住・就労体験と連携した住居等のリノベーション
- ●多様なライフスタイルに合わせた移住交流の推進

施策の柱に関連する SDGs のゴール



基本目標3 森の大切さを知るひとが育つ

（1）村への愛着と生きる力を育む村

1）教育の充実

- 子どもたちが、個性と創造性、自主性を身につけられる教育の充実を図ります。また、先端技術等の導入を図り、地域的差異によらない学びの環境づくりに努めます。
- 村民が学ぶ楽しさを実感できるように、村の地域資源を活かした教育環境づくりを推進します。
- 本村の特色であるおと高の、教育環境の充実に努めます。

＜主な施策＞
- ●新たな技術を取り入れた教育の推進
- ●村の資源を活かした教育の推進
- ●生涯学習に関わる機会や施設環境の整備
- ●村民同士が学び合うふるさと教育の推進
- ●おと高の振興
- ●村の振興の要となる高等学校の機能強化

2）おと高を通じた地域振興

- 本村の宝であるおと高の生徒が地域で活躍できる仕組みづくりを進めます。また、若い世代が長く村づくりに参画できる場や機会の創出を図ります。
- おと高生の作品などを発表できる機会など、おと高生と村民が交流できる場の創出に努めます。

＜主な施策＞
- ●多様な人材活躍の推進
- ●おと高卒業生をはじめとした関係人口の創出
- ●おと高生参加による個性的で魅力ある村づくり
- ●おと高生の作品展示等村民との交流促進

3）交流活動の促進

- さまざまな歴史文化を学び、広い視野を持つ人材が社会で活躍することができるように、交流の環境づくりに努めます。

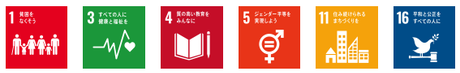
＜主な施策＞
- ●村民同士による多世代交流の促進の場づくり
- ●関係人口創出を通した地域内外の交流促進

4）スポーツ・芸術文化振興

- 村民が健康で楽しく暮らし続けられるように、スポーツを楽しめる環境づくりに努めます。
- 村内に残る伝統行事、芸術文化を次世代に引き継いでいくために、保存・伝承に努めます。
- 村民の芸術文化活動を発表できる場や、芸術文化に参加できる場の創出を支援します。

＜主な施策＞
- ●スポーツを楽しめる環境・機会の整備、交流促進
- ●歴史・芸術文化等地域資源の継承と活用

施策の柱に関連する SDGs のゴール



（2）互いに思いやり安心で活き活きと暮らせる村

1）保健・医療サービスの整備

- 普段から心身の健康を気にかけ、健康づくりに励む村民を増やすために、健康維持・増進に向けた取り組みの促進や保健・医療環境の充実を図ります。
- 病気を未然に防ぐために、ライフステージに応じた検診や予防接種などの充実を図ります。

＜主な施策＞
- ●心身の健康維持・相談支援、食育等の推進
- ●各種検診（特定検診・がん検診等）事業の充実
- ●村民健康相談事業の拡充
- ●音威子府村立診療所の充実
- ●サテライトでの複数の診療科目診察の継続、医療機器の更新
- ●感染症まん延防止対策の継続的対応

2）子育て環境の充実

- 安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠、出産、子育てに至る一連の流れを支援する体制や助成制度の充実を進めます。
- 村内外との連携も図りながら、地域みんなで子どもを育てる環境づくりを推進します。

＜主な施策＞
- ●切れ目のない子育て支援の推進
- ●地域による子育て家庭の支援
- ●保育サービス・幼児教育の充実

3）福祉の推進

- 年齢や性別、障がいの有無に関わらず、すべての村民が安心して生活することができる環境づくりを推進します。
- 各関係機関との連携やさまざまな助成制度の充実を図ります。

＜主な施策＞
- ●高齢の方・障がいのある方が活躍できる場づくり・機会づくり
- ●保健福祉センターを中心とした地域包括ケアシステムの強化
- ●地域複合施設「ときわ」をはじめとする村独自サービスの拡充と資源開発
- ●社会福祉協議会と福祉事業の連携強化

4）地域福祉の推進

- だれもが地域で安心して暮らせるように、村民・関係機関・行政の連携による「支え合う関係性」の構築に努めます。
- 地域の福祉交流拠点における支援体制を充実させ、地域コミュニティを基盤とした福祉ネットワーク活動を支援します。
- 地域福祉を担う団体の活動を支援し、村民自らの力で福祉活動を進め、支え合う地域づくりに努めます。

＜主な施策＞
- ●世代、分野を超えた「地域共生社会」の実現
- ●地域コミュニティ活動やボランティア活動の推進
- ●地域複合施設「ときわ」の、福祉交流拠点としての積極的な活用
- ●総合相談支援体制の充実

施策の柱に関連する SDGs のゴール



（3）ともに支え合い関わり合う村

1）村民協働の仕組みづくり

- 村民と行政が連携し支え合いながら村づくりを担っていく仕組みや環境づくりを推進します。

＜主な施策＞
- ●村民一人二役の活躍の場づくり
- ●地域の枠を超えた支え合う仕組みづくり
- ●村民協働の推進
- ●人づくり・協働活動に関する支援の充実
- ●村政情報公開の推進

2）効率的な行政運営

- 村民に寄り添った行政運営を図るため、組織体制の充実や適切な事務執行など効率的・効果的に各事業を推進します。

＜主な施策＞
- ●組織体制の充実・強化
- ●適切な事務執行
- ●広域行政の促進（定住自立圏・公共交通等）

3）行政サービスの充実

- インターネットなどの情報通信技術を有効に活用して、村民のニーズや時代にあわせた情報提供や生活支援などの行政サービスの充実に努めます。

＜主な施策＞
- ●ホームページ、広報紙の内容の充実
- ●SNS 等を活用した村づくり情報の広報
- ●新たな技術を活用した行政サービスや生活支援検討

4）健全な財政運営

- 国が法律で定めた自治体の財政健全度を示す指標、財政健全化判断基準を満たすよう、行財政の健全化を進めます。
- 財政状況についての情報をより積極的に村民に伝え、本村の財政状況の周知に努めます。

＜主な施策＞
- ●財政運営の健全化
- ●事業の集約、再編等による効率的な施策の展開

5）公共施設等の総合管理

- 老朽化した公共施設の適切な維持を図り、村民の学びの場、交流の拠点など多様な活用ができるよう、総合的な管理に努めます。

＜主な施策＞
- ●公共施設等の維持管理

6）男女共同参画社会の推進

- あらゆる分野において、村民一人ひとりが意欲に応じて個性と能力を発揮できる村づくりを進めます。
- また、働く環境、性別などに関わらず、だれもが一人の人間として社会で活躍することができるように、制度の充実や環境づくりの推進、意識啓発などを図ります。

＜主な施策＞
- ●男女共同参画意識の啓発
- ●男女共同参画・女性活躍の社会環境づくり
- ●審議会・委員会等への女性の登用

施策の柱に関連する SDGs のゴール

